

ヤスダエンジニアリング株式会社

大阪府大阪市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

推進工事の国内トップ企業 世界の地下インフラに貢献

当社は水道・下水・電力・ガス・通信など、生活に欠かせない地下管路インフラの施工会社である。交通量が多く土地利用が高度化した都市部の道路下を非開削で行うシールド工法の中でも特に、小さな内径0.2～3.0mのコンクリート管を地中に押し込む「推進工法」という業種を得意とする。管の先頭に取付ける推進機は大小合わせて100機超と日本最多の保有台数を誇る。同社は1975年に創業し、推進工事のシェアは日本一、2005年より国内企業の実験の一員として海外進出も果している。

● 所在地 大阪府大阪市浪速区塩草3-2-26
● 電話/FAX 066-561-5788 / 066-568-5458
● URL <http://www.yasuda-eng.co.jp/>
● 代表者 代表取締役 安田 京一

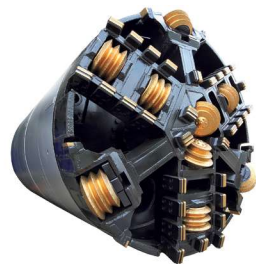
● 設立 1975年
● 資本金 30,000万円
● 従業員数 125人



生産性向上

新技術「ミリングモール工法」で安全性向上と作業員削減実現

老朽化した管路インフラの再構築を推進工法で行う場合、地中に残された金属製障害物は、既存の推進技術では対応不可能だった。そこで当社は2012年に「ミリングモール工法」という地中で金属障害物を切削できる新技術を開発した。同工法の導入により、迂回路線の再設計が不要になるため、工期遵守、安全性確保、コスト削減に貢献する。推進機に搭載したシステムで、電磁波を用いて障害物の有無を検知し、安全で確実に施工するとともに、地中障害物の撤去が不要となり人員削減が可能となった。



ミリングモール工法

ものづくり

培った技術力と経験を活かし、国内外で着実な事業を展開中

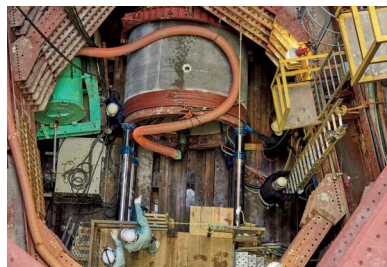
創業以来、公共下水道工事の専門会社として発展し、その後一般土木工事、建築工事を含む総合建設業者としても着実な歩みを続けている。推進工法は、様々な口径を自社機で施工し、新技術、新工法の開発や導入を積極的に行うことで、全国及び海外でのシェアを拡大している。2005年より台湾・韓国・インドネシア・ベトナムなどへ事業展開をしている。現在はベトナムに注力しており、推進工法の普及活動とともに、サプライヤーの現地体制を整え、ホーチミン市で100億円規模の推進工事を元請受注し施工中。



日本トップクラスの機械保有数

積極的な新技術の開発でニッチトップのオンリーワン企業へ

泥濃式推進工法における、掘進機の保有台数は国内No.1であり、新たに開発したミリングモール工法は地中に残置された障害物を電磁波で探査し、掘進機による連続作業で切削除去できるシステムを有する国内随一の製品である。推進工法における当社売上高は国内1位である。「ミリングモール工法」はさらなる大口徑・長距離・多数大量の障害物切削のニーズに応えるため、シールド技術を融合した新工法を開発中。加えて、AIを用いた推進機操作の自動化に着手し、省力化や安全性において、他社の追従を許さない。



泥濃式推進工法